



## エヴァン・ウォンさん インタビュー

(第6回仙台国際音楽コンクール ピアノ部門第2位)

**仙台国際音楽コンクールに申し込まれたきっかけと思い出についてお聞かせください。**

コンクールに出場することは、ピアニストにとって指揮者やオーケストラとのやりとりを経験することができる貴重な勉強の場です。また、その過程で体感する緊張感は、これから演奏活動を行っていく上で必要な経験になると思います。

特に仙台国際音楽コンクールは課題曲が良かったこと、オーケストラと共演できるということが申し込みをした理由です。審査委員の先生方も有名で意欲的な方が多いということもありました。

共演させていただいた仙台フィルとはファイナルでラフマニノフの「パガニーニの主題による狂詩曲」を演奏しました。この曲はオーケストラの負担が大きい作品で、ソリストとオーケストラの音が交錯する部分が多いのですが、とても正確でしっかりと演奏をしてくれたので、とてもよいステージになりました。

出場期間中は練習ばかりでほとんど仙台を見る機会がありませんでしたが、牛タンがおいしかったことが印象に残っています(笑)。今日もぜひ食べたいです。

**今回はカワイ音楽振興会主催のリサイタルツアーのために来日されました。仙台国際音楽コンクールでもカワイのピアノを使用されましたがウォンさんとカワイピアノとのめぐりあわせについてお聞かせください。**

台湾の実家ではカワイのピアノを使っていました。大学のピアノはスタインウェイなので普段はそれを使っています。仙台国際音楽コンクール開催の2か月前にドイツでマスタークラスがあり、カワイのピアノを弾く機会がありました。コンクールでは、初めからカワイにしようと思ったわけではありませんでした。弾いてみたらすごく良い音色が出て、ピアノから返ってくる音が自分に合っていると感じました。選んでいた課題曲にもすごく合っていて、ピアノ自体のコンディションもとても良かったということもありカワイを選びました。

**ピアノを始めたきっかけは?**

母が音楽教師で、姉もピアノを弾いていました。母親が購入するCDはクラシック音楽のものばかりで、自然とクラシック音楽を聴くようになりました。

最初は、ヴァイオリンを3歳の時に始め、ピアノを習い始めたのは5歳の時でした。本格的にピアノに取り組むようになったのは11歳の頃です。9歳の時、ホロヴィッツの演奏を映像で見て心を打たれました。彼のモスクワでの最後の公演で、ショパンの英雄ポロネーズの演奏だったと思います。派手なパフォーマンスで演奏するピアニストも多いですが、彼は体をさほど動かすことなく素晴らしい音色を聴かせていたのです。母は私が夢中になって聴き入る様子を見て、興味深く感じたと言っていました。

**好きな作曲家を教えてください。**

好きな作曲家はたくさんいますが、シューマンが大好きです。彼は音楽の力を借りて感情に訴える力がすごいと思います。他にはベートーヴェン、シューベルト、ブラームスなどドイツの



エヴァン・ウォンさん

作曲家が好きです。特にブラームスの室内楽曲はほとんど演奏しています。音楽に哲学的な側面を多く持っていることが好きな理由です。

**どのような演奏家を目指していますか?**

もし私の演奏を聴きにいられた方が落ち込んでいたりしても私の演奏でその方の気持ちを良い方向に変えるような演奏ができたらと思っています。聴衆の皆さんの心に訴えかけられるような演奏をすることを常に心がけています。

**趣味、休日の過ごし方について。**

最近では休みがほとんどありません。趣味はバスケットボールです。今は指の怪我が心配なのでプレイはできませんが、テレビでNBAを観戦したりしています。他には卓球をしたりでしょうか。映画・博物館へ行くことも好きです。散歩も好きで、2時間位歩いたりもします。私が住んでいるシカゴ郊外は冬の寒さがとても厳しいですが、季節の良い時期には湖の周辺を歩きます。長時間歩くことはリラックスできて、気分転換にもなります。

**今後のスケジュールについてお聞かせください。**

4月にドイツのハノーファーと現在学んでいるノースウェスタン大学でのリサイタルがあります。8月には台湾でのブラームスの作品をプログラムにしたリサイタルが2公演あり、9月にはドイツでカワイ主催のコンサートに出演します。それから10月にノースウェスタン大学でベートーヴェンの三重協奏曲を演奏する予定があります。

**最後に仙台市民の皆さんにメッセージをお願いします。**

仙台には本当に良い印象しかありません。コンクールでは上位入賞することができましたし、接した皆さんもとても親切にしてくれて本当に感謝しきれません。これからも仙台に来る機会が増えれば嬉しいです。

# 第6回仙台国際音楽コンクール出場者たちの活躍

コンクール会場で出会った、あの音、この音。皆さんの記憶に残った出場者の演奏会に足を運び、再び感動を味わってください。

## <ヴァイオリン部門>

### チャン・ユジン(優勝)

2017/6/23(金) 優勝記念ヴァイオリンリサイタル (浜離宮朝日ホール)  
2017/6/25(日) 優勝記念ヴァイオリンリサイタル (日立システムズホール仙台)  
2018/2/24(土)、25(日) 山形交響楽団第266回定期演奏会 (山形テルサホール)



チャン・ユジン  
(c)BONSOOK KOO



黒川 侑

### 青木 尚佳(第3位)

2017/4/29(土) 静岡交響楽団第71回定期演奏会 (マリナートホール)  
2017/5/20(土) 千葉交響楽団第101回定期演奏会 (習志野文化ホール)  
2017/6/3(土) 大阪交響楽団名曲コンサート (ザ・シンフォニーホール)  
2017/10/8(日) 岡山フィルハーモニック管弦楽団第54回定期演奏会 (岡山シンフォニーホール)  
2018/1/19(金)、20(土) 仙台フィルハーモニー管弦楽団第315回定期演奏会 (日立システムズホール仙台)  
2018/2/3(土) 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団第52回定期演奏会 (ティアラこうとう大ホール)



青木 尚佳



キム・ヒョンジュン

### メルエルト・カルメノワ(第5位)

2016年10月 第2回オレグ・クリサ国際ヴァイオリンコンクール第3位入賞  
2017/5/1(月) ボランティア・プロジェクトVol.23「新緑の風に聴く」(日立システムズホール仙台)  
2017/5/4(木) エマイユ・フィルハーモニック第12回定期演奏会 (日立システムズホール仙台)



メルエルト・カルメノワ

### 岡本 誠司(第6位、聴衆賞)

2016年10月 第15回ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクール 第2位入賞  
2017/5/6(土) ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 公演番号366 "シャコンヌ" (東京国際フォーラム)



岡本 誠司



北端 祥人

### 黒川 侑(聴衆賞)

2017/5/20(土) 西宮ロータリークラブ80周年ドリーム・コンチェルト (兵庫県立芸術文化センター)

## <ピアノ部門>

### キム・ヒョンジュン(優勝)

2017/6/18(日) 優勝記念ピアノリサイタル (日立システムズホール仙台)  
2017/6/22(木) 優勝記念ピアノリサイタル (浜離宮朝日ホール)

### 北端 祥人(第3位)

2017/5/16(火) ピアノリサイタル (宮城学院女子大学 ハンセン記念ホール)  
2017/5/19(金)、20(土) 仙台フィルハーモニー管弦楽団第309回定期演奏会 (日立システムズホール仙台)

## 第6回仙台国際音楽コンクール優勝記念CD

♪コンクールの感動をもう一度♪

昨年、満員の聴衆を魅了した仙台国際音楽コンクールファイナルの演奏をもう一度体感することができるようになりました。ヴァイオリン部門優勝 チャン・ユジン、同じくピアノ部門優勝 キム・ヒョンジュン、2人のファイナルでの演奏が収録されたCDが好評発売中です。

我らが仙台フィルハーモニー管弦楽団とのコンチェルトは心潤す演奏となっております。どうぞ、あの感動をもう一度、お聴きください!!

### ヴァイオリン部門優勝 チャン・ユジン



#### 【収録曲】

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64  
ストラヴィンスキー：ヴァイオリン協奏曲 二調

ヴァイオリン：チャン・ユジン  
指揮：広上 淳一  
管弦楽：仙台フィルハーモニー管弦楽団

[商品番号 FOCD9732]

### ピアノ部門優勝 キム・ヒョンジュン



#### 【収録曲】

モーツァルト：ピアノ協奏曲 へ長調 K459  
ブラームス：ピアノ協奏曲 第1番 二短調 op.15

ピアノ：キム・ヒョンジュン  
指揮：パスカル・ヴェロ  
管弦楽：仙台フィルハーモニー管弦楽団

[商品番号 FOCD9733]

定価：2,400円+税 (2016年12月7日発売)

取り扱い：全国のCDショップ

販売元：株式会社フォンテック

制作：公益財団法人仙台市民文化事業団

今回は仙台フィルを裏方として支えているインスペクターの我妻 雅崇（わがつま まさたか）さんにお話をうかがいました。

### インスペクターという仕事の内容を教えてください

インスペクターを直訳すると監査官です。でも私が何かを監査するという事は、一切なく、実際には楽団員、指揮者、ソリスト、公演によっては合唱団、バレエ団などステージに上がる全ての人のマネージャーのような仕事をしています。

仙台フィルは年間120本近くの演奏会を行っています。約80人からなる楽団員がいて、コンサートの内容も様々です。一回の演奏会で出演するメンバー調整のほか、エキストラや特殊楽器奏者が必要であれば、それに対応した演奏家を手配します。団員の休暇までもチェックするという意味では、全体を監査しているかもしれませんね。そして、演奏会当日は、リハーサルから舞台進行まで出演者たちへの連絡調整も行います。

### 仙台国際音楽コンクールには第1回目から関わっていたのですか？

私の入団が2001年の4月1日だったので、第1回コンクールの開催がその直後でした。最初は右も左も分からなく、指揮者の外山先生、梅田先生に叱咤されながら、いろいろと教えていただき、とても勉強になりました。第1回から関わらせてもらっていることはとてもありがたく思っております。

### 普段の演奏会とコンクールの時では違いがありますか？

出場者に公平に接していくために、リハーサル、ゲネプロ、本番を時間通りに進行させることと、そしてみなさんが気持ちよく演奏出来る様に気を配ることでしょうか。通常の演奏会と違って、コンクールでは、ソリスト(出場者)が次々と入れ替わります。一人ひとりの演奏解釈も異なるのでリハーサルから本番まで全く気が抜けません。でも1ヶ月に渡る仙台国際音楽コンクールのおかげで、仙台フィルは通常ではできない経験を得て、体力的にもタフになり、他のオーケストラに負けない柔軟性や実力がついたのではないのでしょうか。

### 現職と以前のご職業について

前職は、音楽とは関係のない民間企業で営業職をしておりました。とにかく、売上の数字を上げることに追われる毎日でした。仙台フィル事務局は、温かい雰囲気だと感じています。何よりも毎日素敵な音楽を聴くことがありがたいです。それにもしインスペクターにならなかつたら、こんな素晴らしい指揮者や演奏家の皆さんと出会えなかつたなと思います。ものすごいチャンスをいただいたと感じており、これからも気を引き締めて頑張りたいと肝に命じております。



仙台フィル インスペクター  
我妻 雅崇さん

### 音楽の勉強をされてきたのですか？

専門の音楽教育は受けていませんが、この仕事で重要なのはコミュニケーションだと考えています。楽団員、指揮者、ソリスト、合唱団とこまめなコミュニケーションをとることによってスムーズな現場運営を図ることができます。特に海外の演奏家は食事や宗教上の習慣もあります。楽団員の個々の情報を把握することも大切です。

### お休みの過ごし方はどうされていますか？

釣りが好きでよく出かけたりします。あとは料理が好きなので、忙しい日々のために保存食を作って冷蔵庫に作り置きしたりでしょうか。

### これからの仙台フィルに望むこと

仙台フィルがもっと市民の皆様と親しみを与える存在になって欲しいです。また恒常的に街に音楽が溢れていて、仙台フィルがその一端を担っていけるといいですね。

## 仙台国際音楽コンクールボランティアプロジェクトVol.23 新緑の風を聴く メルエルト・カルメノワさんを迎えて

仙台国際音楽コンクールボランティアが企画制作するイベントのお知らせです。

爽やかな新緑が萌える5月、昨年行われた第6回コンクールのヴァイオリン部門で第5位に入賞されたメルエルト・カルメノワさんをゲストにお迎えして、ミニコンサートを開催いたします。

イベント後半はトークコーナーで、ご自身の演奏活動のことや故郷のカザフスタンのこと、現在のモスクワでの生活や、仙台国際音楽コンクールの思い出などをお話しいたします。カルメノワさんの素敵な音楽と人柄を身近に感じることができる、楽しいひとときにぜひお越しください。

【日時】2017年5月1日(月) 19:00 開演

【会場】日立システムズホール仙台 2F 交流ホール (仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)

【演奏曲目】シューマン：歌曲 ミルテの花op.25 第1番 献呈  
ヴィエニャフスキ：華麗なるポロネーズ 第1番 二長調 op.4  
サン＝サーンス：序奏とロンド カプリッチオーソ op.28  
スーク：愛の歌 op.7-1  
ワックスマン：カルメン幻想曲

【出演】演奏・お話：メルエルト・カルメノワ (カザフスタン・第6回ヴァイオリン部門 第5位)  
ピアノ：菅原 望 (仙台市出身、ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽院在学)  
ロシア語通訳：宮原 ラーダ

【ご参加】入場無料 (往復はがき申込制)

定員250名様 (応募者多数の場合、抽選とさせていただきます)

【応募締切】4月17日(月) 必着

【応募方法】往復はがきに

①公演名「メルエルト・カルメノワさんを迎えて」②ご住所③お名前④電話番号を、返信面に返信先のご住所、お名前を記入して下記までお申し込みください。

【申込先】〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 仙台市市民文化事業団「メルエルト・カルメノワさんを迎えて」係

【問合せ先】公益財団法人仙台市市民文化事業団 コンクール推進課 TEL: 022-727-1872







## 第6回仙台国際音楽コンクール 優勝記念演奏会（仙台公演）

2016年に開催されたコンクールでキム・ヒョンジュンはピアノ部門、チャン・ユジンはヴァイオリン部門で優勝を果たしました。感動のコンクールから1年後の6月に記念演奏会が開催されます。共に韓国出身、現在はアメリカの音楽院で学んでいます。ぜひ、お誘い合わせて鑑賞ください。

### <キム・ヒョンジュン ピアノリサイタル>

日時：6月18日（日）14:00開演（13:30開場）

【出演】キム・ヒョンジュン

【演奏曲目】モーツァルト／ピアノ・ソナタ ヘ長調 K280  
シューマン／謝肉祭 op.9  
プロコフィエフ／ピアノ・ソナタ 第2番 二短調 op.14  
ショパン／ピアノ・ソナタ 第3番 口短調 op.58

### <チャン・ユジン ヴァイオリンリサイタル>

【日時】6月25日（日）14:00開演（13:30開場）

【出演】ヴァイオリン：チャン・ユジン  
ピアノ：小澤 佳永

【演奏曲目】メンデルスゾーン／ヴァイオリン・ソナタ ヘ長調（1838年）  
グリーグ／ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ト長調 op.13  
ストラヴィンスキー／ディヴェルティメント  
シベリウス／6つの小品 op.79から  
第1曲 思い出、第5曲 牧歌的舞曲、第6曲 子守歌  
サン＝サーンス／序奏とロンド・カプリッチオーソ op.28

【会場】日立システムズホール仙台 コンサートホール  
仙台市営地下鉄南北線「旭ヶ丘駅」下車徒歩3分

【入場料】一般 2,800円、学生 1,200円、シルバー 2,300円 2公演セット券 4,500円

【プレイガイド】藤崎、仙台三越、ヤマハミュージックリテイリング仙台店、カワイミュージックショップ仙台、チケットぴあ（Pコード：314-810）、イープラス、ローソンチケット（Lコード：21646）、河北チケットセンター（Tel:022-211-1189 平日10:00～14:00）、仙台市市民文化事業団（日立システムズホール仙台 1階事務室、イズミティ21）

【問い合わせ】仙台市市民文化事業団総務課 Tel:022-727-1875

【後援】駐日韓国大使館 韓国文化院、駐仙台大韓民国総領事館



キム・ヒョンジュン



チャン・ユジン

## Charity Concert for Sendai vol.7 オールショパンプログラム ～バラードでつなぐ絆～

仙台国際音楽コンクールに出場経験のあるピアニストによる「チャリティーコンサート for 仙台」。東日本大震災直後の2011年4月にスタートしたこのコンサートでの過去6回の収益は、すべて仙台の復興のために寄付されています。仙台を常に忘れず心を寄せてくださっているピアニストの皆さんに感謝しつつ、今年も個性あふれる5人の渾身の演奏を楽しみましょう。

【日時】2017年5月6日（土）13:30開場、14:00開演

【会場】東京都新宿区 牛込筆筈区民ホール

（東京メトロ「神楽坂」徒歩10分、都営大江戸線「牛込神楽坂」すぐ）

【出演】佐野 隆哉、鈴木 美紗、津田 裕也、法貴 彩子、米津 真浩（五十音順）

【入場料】全席自由 一般3,000円 学生2,000円

【演奏曲目】（オールショパンプログラム）

バラード 第1番 op.23／ノクターン 第2番 op.9-2（米津 真浩）  
2つのノクターン op.37／バラード 第2番 op.38（法貴 彩子）  
バラード 第3番 op.47／ワルツ ヘ短調 op.70-2／英雄ポロネーズ op.53（佐野 隆哉）  
ノクターン 第8番 op.27-2／幻想曲 ヘ短調 op.49（鈴木 美紗）  
ノクターン 第1番 op.9-1／バラード 第4番 op.52（津田 裕也）

【チケット・問合せ】C Nプレイガイド 0570-08-9990

公式ブログ [blog.goo.ne.jp/charitysendai](http://blog.goo.ne.jp/charitysendai)

ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

公式アドレス [charity.sendai@gmail.com](mailto:charity.sendai@gmail.com)



（左から）鈴木さん、法貴さん、米津さん、津田さん、佐野さん

### ♪ 編集後記 ♪

買ったばかりの新車に、瞬間燃費の表示が出ます。運転中、燃費が大きく変動するのびっくり。運転も音楽もベースが大切です。（岡）

3月は震災を思い出さずにはいられません。多くの方が犠牲になりいたるところに様々な悲しみがあります。そして、美しい音楽がこれほど心に響く時はありません。（M）

ピアノのコンクールを目指す若者の群像を描いた本年度の直木賞受賞作、仙台出身の恩田陸著「蜜蜂と遠雷」。読み応えのある一冊ですがお勧めです。（かなりの大作なので根気を要しますが・・・。507ページ、2段）（吾）

朝のクラシック音楽は心を優雅にしてくれませぬ♪今回の編集も楽しくやらせていただきました：D！（栗）

仙台フィルのTwitterは以前からマメな情報発信で助かっていましたが、最近ただの告知にとどまらず、中の人の才能が爆発しているので要注目です。（川）

今年は、初めて冬山登山に挑戦。蔵王の素晴らしい樹氷の光景を堪能しました。（H.S）

震災が発生して6年が経過しました。まだまだ復興半ばですが、少しでもお手伝いができたらと思っています。（早）

初参加でしたが、ボランティアの皆さんの意欲的に取り組む姿勢に感心しつつ、新鮮で有意義な時間を過ごせました。これから色々なイベントもあるので楽しみです（事務局 S）

入賞者たちのその後の演奏を聴き、彼らの成長を応援することも楽しみです。（事務局 松）

## 発行：第6回仙台国際音楽コンクール 広報宣伝サポートボランティア

問合せ：仙台市市民文化事業団コンクール推進課（仙台国際音楽コンクール事務局） Tel: 022-727-1872 / e-mail: [info@simc.jp](mailto:info@simc.jp) / URL: <http://www.simc.jp/>